

議会だより

第520回西ノ島町議会6月定例会一般質問(要約)



吉田 歳造
議員

豪雨災害時の避難行動について

町民の防災意識を高め、安心安全なまちづくりを実現するため、希望する地区を対象に豪雨災害時における避難行動シミュレーション会議を実施してはどうか。

回答 町長

ご提案のシミュレーション会議については、日頃から住民同士でコミュニケーションが取れる関係が大切であり、地区の実情に応じ、災害に備えた情報共有や意見交換の場を持つことが重要であると考える。町としては地域の防災意識が高まるよう令和5年度から6年度に各地区に防災訓練・防災学習会の開催について依頼し、希望のあった三度、珍崎、赤ノ江の3地区で専門講師による土砂災害の学習会を実施したところであ



る。今年度は4月から配置した危機管理専門員が各地区を巡回し、地域の実情把握と防災訓練等の実施について調整を進めているところである。防災学習会では単独開催が困難な場合には複数地区による合同開催や、防災訓練については地区と相談して計画作成の支援を行う。令和6年度より地区の防災活動を支援するため、防災資機材の購入や地区が実施する防災訓練及び災害時要支援者の見守り活動に対する補助制度を設けており、こうした制度の活用とともに、より一層地区の防災意識が高まるよう相談体制の充実を図り、町内各地区に働きかけていく所存である。



三角 久男
議員

町営住宅の維持、整備について

水産業のうち特に巻き網漁の事業者は町内出身者に加え町外出身者及び外国人実習生を雇用しているが、その雇用を迅速かつタイムリーに行うためには町内における住宅の確保が必須条件となっている。そこで町長の見解を伺う。

- ① 町営住宅の戸数及び入居率
- ② 退去から入居までの平均所要期間とその要因
- ③ ②の要因をクリアするために必要な対策

回答 町長

①現在、町で管理している住宅で実質入居可能な住宅は270戸である。このうち本年5月末において、248戸が入居中のため入居率にすると92%である。
②修繕の必要がない場合、ハウスクリーニングのみで約1週間程度で入居可能となる。畳・ふすま等の張替えなどの小修繕がある場合、約2〜3週間程度の日数を要し、大工手間を要する大修繕があれば、

1〜2か月程度かかる場合もある。小修繕に対応できる畳屋、建具屋は島前では海士町に1社のみであること、大修繕に対応できる建築業者も町内では3社しかおらず、修繕が集中する時期はスケジュール調整をしながら対応しているところである。

③築年数が古い物件が多いことから、入居者の入れ替えを早く対応できるようにするため、本土の業者の活用も視野に入れ対応することも検討する。



竹谷 実
議員

岩ガキについて

岩ガキの令和6年度の売り上げは、隠岐全体の31経営体で年間計約2億円であった。

今や隠岐地域だけでなく全国に養殖技術が普及している。

そこで町長に2点伺う。

- ① 岩ガキ発祥の地としての役割を広くアピールする意思はないか。
- ② 岩ガキの品質、衛生管理について、販売時に生産者の明確化や

実入りなど品質管理の指導はできないか。

回答 町長

①本町では今年度、西ノ島町特産品開発プロジェクトの一環として岩ガキを活用した料理レシピを考案してもらうため、シェフを誘致して生産者や宿泊施設と一緒に取り組むこととしている。町としては料理メニューの開発などを事業者の方々と一緒にすすめて、町内で岩ガキを食べることができ機会を創出することで人を呼び込み賑わいをもたらしことが、岩ガキ養殖発祥の地として関係者のご功績に報いることやアピールにつながるものと考えている。

②衛生管理については「隠岐のいわがき」衛生管理マニュアルを遵守し、安全・安心な「隠岐のいわがき」の提供に努めていただいているものと認識しており、また、「隠岐のいわがきブランド化推進協議会」において出荷前に定期的な検査を行っている。ご質問にあった身入りの状態については、現時点で確認する技術は確立されていないと承知しているが、品質管理の方法や生産者の明確化については、JFや生産者などと意見交換を行い、検討していく。



亀澤林大朗 員 議

浦郷漁港周辺まちづくり計画について

今年の町長施政方針において説明のあった「浦郷漁港周辺まちづくり計画」について、町のホームページにも、どこにも策定された計画の情報が見当たらない。まちづくりは町民が一体となって行うものだと思えるが、その為には如何にしてこの事業により多くの人を巻き込んでいくかが重要であり計画の情報は町民に対して広く知らせるべきと考えるが、町長に次の2点について伺う。

回答 町長

①「浦郷漁港周辺まちづくり計画」は、浦郷地区を拠点に海や地域資源の価値や魅力を活かした「海業」を推進し、水産物消費の推進や交流人口の拡大を図り、西ノ島町全体の活性化を目指すもの。議員のご指摘のとおり、計画内容を町民の皆様にも広く周知することは本当に有効なことであり、計画の広報に

ついては、7月に町のホームページで公開するとともに、「広報にし」のしま7月号に掲載をする予定である。これらの広報を通じて、計画に対する町民の皆様のご理解とご協力を得られるよう努めていく。

町ホームページは

こちら



②この計画は浦郷地区住民の代表や観光や漁業に関わる方々に行政関係者を加えた浦郷漁港周辺まちづくり計画検討協議会からの提言をまとめたもので、浦郷地区の活性化に向け計画策定に参画された皆様の思いが込められたものと認識をしている。運営体制の検討、また活用可能な補助交付金の検討など、事業実施に向けた作業が必要になる。実現可能性や持続可能性の高いものから順次着手する見込みであるが、皆様の想いを一つでも多く形に出来るように取り組みを進め、中期財政計画等で議会にも示してまいります。

豪華客船の誘致について

豪華客船の誘致は一度に数百人規模の観光客を呼び込むことが出来るため、様々な消費で町に落ちるお金も大きく、豪華客船が寄港する港と

して町のブランド力を高める効果も期待できる。「浦郷漁港周辺まちづくり計画」を活かすことにも繋がりが、相乗効果が期待できることから豪華客船の誘致をさらに強化してはどうかと考えるが、見通しについて伺う。



回答 町長

議員ご指摘のように、クルーズ客船の寄港は、町内の観光消費の増加とともに、町のブランド力を高める効果も期待される。入港したクルーズ客船の船長から、浦郷港を離れる際、海上からの船による見送りが素